令和6年度 学校経営・運営ビジョン <本宮市立白沢中学校>

< 保護者の願い>

生徒一人一人を大切にし、学力の向上と心の教育(道徳教育) に力を入れてほしい。

目指す学校像

- 生徒一人一人のよさを認め伸ばす学校
- 自ら考え、自ら学ぶ生徒を育む学校
- 〇 生徒に豊かな心と社会性を育む学校
- 健康でたくましく生きる生徒を育む学校

孝女 標 育

志学

深思

健康

目指す生徒像

- 〇 自ら考え、自ら学ぶ生徒
- 自己の生き方を見つめ、主体的に行動する生徒
- 〇 心身ともに健康で、人間性豊かな生徒

<合言葉>

やれる できる やりとげる!

目指す教師

【目指す子どもの姿】「自分の可能性を広げ、

○ 未来を切り拓く資質・能力の育成 ○ 豊かな人間性や社会性の育成

○ 健康な体と運動能力の育成

生徒が主役 ~生徒のために~

- 〇 生徒、保護者、地域に信頼される教師
- 生徒理解に努め、一人一人の能力を伸ばす教師

令和6年度 本宮市学校教育の重点

よりよい未来を創造しようとする子ども」

- 自己研鑽に努め、互いに高め合う教師
- 教育に情熱をもち、生徒とともに歩む教師

自己マネジメントカの育成

本年度の重点

生徒の自主性・主体性の育成

(Plan)

たくましい身体を育てます <体プロジェクト>

(Do)

<努力実践事項>

1 育成する資質・能力の明確化・意識化と「主体的・対話的 で深い学び」の実現により、学力の向上を図ります

学力の向上に努めます

<mark>く学びプロジェ</mark>クト>

- 思考の深まりを意識した授業のコーディネイト
- 少人数での指導と ICT を生かした個に応じた指導の充実 「対話」との(***) まを大切にした、学ぶ喜びを実感する 「わかる・できる」授業の実践
- 2 目標をもって、自ら学びに向かう力を育成します
- スケジュール手帳の活用による学習習慣サイクルの確立
- 基礎学力テスト等、家庭での自主学習を促す取組の充実
- 各種学力調査やテストの分析による客観的な実態把握
- 各種検定受検による資格取得の奨励
- 3 読書活動・読書指導の充実を図ることにより、読書習慣を 身に付けさせます。
- 学年別「必読図書」による「朝読タイム」の質的向上
- 学校図書館・夢図書館の学習活用と「家読」の充実

豊かな心を育てます <心プロジェクト>

<努力実践事項>

- 1 様々な活動等を通して、豊かな人間性や社会性を育 てます。
 - 望ましい人間関係を醸成する学級づくりの充実
 - 自己肯定感・有用感の醸成による不登校の予防 生命の尊重、思いやりの心、協力する態度の育成
 - を目指した道徳教育の充実(考え・議論する道徳) 生徒の社会性を育む職業体験、奉仕活動の推進
- 2 生徒一人一人を大切にし、キャリア教育を充実させ ることにより、将来の自己実現を支援します。
- 自己の生き方の探求と進路指導の充実、立志式
- 一人一人のニーズに応える教育相談の充実
- 3 生徒の自主性や主体性を育てます。 全校的なあいさつ運動の推進
- 生徒の主体性を伸ばす生徒会活動の推進、及び 体験活動の充実

<努力実践事項>

- 1 生徒一人一人の将来の自己実現を支える、健康な身体 をつくります。
- 健康・安全教育の推進
 - ・食育、生活習慣づくり、性教育、薬物乱用防止教育 等
- 授業と体育的行事を通した体力づくりの実践
- 防災教育・放射線教育の推進
- 2 部活動を通して、体力、表現力を育成するとともに、 豊かな人間性を育成します。
- 主体的な活動姿勢の醸成
- 生涯にわたって親しめるスポーツ・文化の奨励
- 3 対外的なスポーツ大会等への積極的な参加を奨励し、 体力の向上を図ります。
 - 市の体育的行事への参加奨励 (ロードレース大会、駅伝大会等)

主な目標指標

◎:めあて(目標)をもつ ①:自分の言葉で表現する

(重):まとめ(振り返り)をしっかりする

学校評価において、高い評価を目指します。 (全体平均 3.3 以上、全項目 3.1 以上)

(Check & Action)

◇ 体力・運動能力の向上

・自力登校(株、(軸)の奨励

新体力テストのすべての種目において、 全国及び県平均レベルを目指します。

全国学力・学習状況調査、ふくしま学力調査、NRT において、全国及び県平均レベルを目指します。

教育活動全体を支える基盤づくり(保護者・地域とともに)

- ◇ 基本的生活習慣の確立
 - (あいさつ、返事、言葉遣い、時間、食育) ◇ 家庭学習の充実(時間確保と質的向上) ◇ 小中学校の連携(CS、中学校区小中連携協議会)
 - 交通事故や学校事故等の未然防止(安全教育、関係機関との連携) ◆ 情報モラル教育の充実(家庭と連携したメディアコントロールと情報モラルの育成)
 - 部活動への積極的な参加
 - キャリア教育の推進(学校・家庭・地域の連携推進、目的意識を重視した進路指導)
 - ◆ 開かれた学校としての相互理解と連携強化(CS: コミュニティー・スクール、情報発信、参観)